

富山大学学術研究部社会科学系  
サステイナビリティ学（エネルギー・ネクサス研究） 教員公募

1. 部局名 学術研究部社会科学系
2. 職名および人員 助教（任期7年，再任可） 1名
3. 専門分野 サステイナビリティ学（エネルギー・ネクサス研究）  
担当授業科目  
【学部担当授業科目】
  - ・専門授業科目：持続可能社会創成学環への接続を意図したサステイナビリティ学関連経済学部専門科目
  - ・その他授業科目：教養教育科目（サステイナビリティ学関連科目）【大学院担当授業科目】
  - ・専門授業科目：サステイナビリティ学関連専門科目その他，関連する科目をご担当いただく場合があります。
4. 応募資格
  - ①博士課程修了者（見込み含む）または同等以上の研究・教育能力を有する若手研究者。
  - ②査読付き論文3編以上（筆頭または責任著者）。
  - ③修士課程における研究指導の補助及び授業担当ができること。
  - ④文理融合型共同研究および国際学術連携に意欲を有する者。
  - ⑤英語で授業および実務ができること。日本語能力は必須ではないが，日本語習得に意欲を有する者。
  - ⑥科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること。
  - ⑦地域貢献活動や学内の運営活動に積極的に寄与できること。
  - ⑧入試業務等に携わる意思があること。
  - ⑨教養教育に貢献できること。
  - ⑩外国人留学生の教育に熱意がある者。
5. 採用年月日 令和8年10月1日以降のできるだけ早い日
6. 応募締切日 令和8年5月31日（日）必着  
※応募状況によっては，応募締切日を延長する場合があります。
7. 応募書類
  - ①履歴書（様式自由。写真添付，学会等の活動について記載すること。）
  - ②著書，論文等（PDF）。提出のない研究業績は審査しません。公刊予定の研究業績については，編集者等による原稿提出済み証明書（様式自由）を付すこと。証明書のない研究業績は審査しません。

- ③研究業績目録（「学術論文・査読付」，「学術論文・査読無」の順にすべての研究業績を記載し，主要業績3点について，タイトルの冒頭に○印を付すこと。原著論文について，応募者が「責任著者」である場合は，氏名の右に「（\*責任著者）」と記載すること）。
  - ④外部資金獲得状況一覧（科研費と科研費以外に分け，所定の様式に過去10年間の実績を記載し提出すること。実績がない場合はその旨記載し提出すること）
  - ⑤教育実績書（様式自由。実績のある方のみ）
  - ⑥最終学校の修了（見込）証明書，単位取得（見込）証明書または卒業証明書のコピー
8. 選考方法 応募書類による審査および面接  
（面接は，非対面形式により実施する可能性があります）
9. 応募先 〒930-8555 富山市五福 3190 経済学部事務室  
国立大学法人富山大学学術研究部社会科学系長  
電子メールでご応募ください。E-mail ecosoumu@adm.u-toyama.ac.jp  
※ 電子メールの件名を「サステイナビリティ学（エネルギー・ネクサス研究） 教員応募書類在中」としてください。
10. 問い合わせ先 ①公募について  
国立大学法人富山大学人社系総務課（経済学部事務室）  
TEL 076-445-6401 E-mail ecosoumu@adm.u-toyama.ac.jp
- ②給与等について  
国立大学法人富山大学総務部人事課  
TEL 076-445-6524  
※ 問い合わせに際しては，「サステイナビリティ学（エネルギー・ネクサス研究）」に関する旨を明らかにしてください。
11. 備考 ①提出書類の追加送付は原則として認めません。  
②面接に要する経費（旅費，宿泊費，通信費等）は支給しません。  
③提出いただいた書類に含まれる個人情報，選考および採用以外の目的には使用いたしません。  
④国立大学法人富山大学職員就業規則により定年は65歳です。  
⑤国立大学法人富山大学では，年俸制（退職時に退職手当を支給する年俸制）を導入しており，本公募による採用者も年俸制を適用します。  
⑥研究推進機構サステイナビリティ国際研究センター及び持続可能社会創成学環に配属されます。

○富山大学では，多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう、教育・研究活動と生活の両立支援、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。

男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下 URL をご覧ください。

[ダイバーシティ推進センター] <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

[富山大学ダイバーシティ推進宣言]

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>

○若手研究者の積極的な応募を歓迎します。